

まほろん

Shikakawa since 2007

通信



写真：開催中の企画展「戦後ふくしまの考古学2」で紹介している徳定遺跡(郡山市)昭和50年頃の調査風景です。
また本誌4ページでは、令和2年度に行った何遺跡の発掘調査での出土品についての記事が掲載されています。

Contents

- ・まほろん2024年度年スケジュール
- ・研究報告 X線CT
- ・收藏資料紹介「徳定A・B遺跡」

まほろん 2024 年度 スケジュール



2024年度の行事を紹介します。
事前申込が必要な場合がありますので、詳しくは
お問合せいただくか当館ホームページをご覧ください。

	イベント・特別体験	実技講座・まほろん森の塾	講演会等	企画展
4月	・4月27日(土) ～5月6日(月) GW 特別体験	※「まほろん森の塾」は、小学4年生～中学生を対象とした、通年型の体験学習です ・随時受付 web 配信「おうちでできる土器づくり」 ・5月25日(土)「白河だるまづくり①」		・4月2日(火) ～5月6日(月) 「戦後ふくしまの考古学②」
5月				
6月		・第1回まほろん森の塾 ・6月29日(土)「白河だるまづくり②」	・6月15日(土) 第1回館長講演会	・6月15日(土) ～9月29日(日) 「U(アンダー)15の考古学～ふくしまの平安時代のはまり～」
7月	夏休みの特別体験	・第2回まほろん森の塾 ・7月27日(土)・28日(日) U15実技講座「土器づくり」	・7月21日(日) 子ども考古学教室1	
8月		・8月25日(日)「土笛をつくろう」	・8月4日(日) 子ども考古学教室2 ・8月24日(土) 第2回館長講演会	
9月		・第3回まほろん森の塾	・9月22日(日・祝) 第3回館長講演会	
10月		・10月13日(日)「大堀相馬焼に挑戦①」 ・第4回まほろん森の塾	・10月27日(日) 前田遺跡成果速報展 関連講演会1	・10月26日(土) ～12月15日(日) 「前田遺跡成果速報展(仮)」
11月	・11月2日(土)～4日(月) 「まほろん感謝デー」 「移動水族館」(2日・3日)	・11月17日(日)「大堀相馬焼に挑戦②」	・11月30日(土) 前田遺跡成果速報展 関連講演会2	
12月		・第5回まほろん森の塾	・12月8日(日) 第4回館長講演会	
1月		・1月18日(土)～1月25日(土) 「縄文土器づくり」	・1月26日(日) 双葉郡の遺跡展 関連講演会1	・1月25日(土) ～3月16日(日) 「双葉郡の遺跡」(前期)
2月			・2月15日(土) 第5回館長講演会	・4月1日(火) ～5月6日(火)
3月		・3月9日(日)「縄文土器づくり：野焼き」	・3月1日(土) 双葉郡の遺跡展 関連講演会2	「双葉郡の遺跡」(後期)

月替わり 体験活動室メニュー!



4月 竹つば耳かざりづくり
(有料)

5月 縄文コースターづくり
(有料)

6月 ミニネウリづくり
(有料)

上記の他に、常時体験メニューとして
「勾玉づくり」と「火おこし」がございます。
7月以降の月替わりメニューはホームページ
をご覧ください。



体験活動室 スタンプカード

3つにまると、月替わり有料
メニューが1回分無料となります。
(制限: 3回目スタンプ日付より1年間)



まほろん研究報告 X線CT調査について

文：勝川 若奈（学芸員）
佐藤 璃子（学芸員）

まほろんでは収蔵資料の研究も行っております。
今回はX線CT調査の一例をご紹介します。

まほろんでは、二〇一九年度から収蔵資料の理化学的調査を実施しています。X線CT撮影では、表面からは読み取ることのできない内部の状態を知ることができ、大切な収蔵資料を破壊することなく、調査・研究に用いることができます。今年度は、6点の資料をX線CT撮影しました。その中から今回は、四合内B遺跡（三春町）から出土した、小仏像についてご紹介します。



X線CT撮影装置

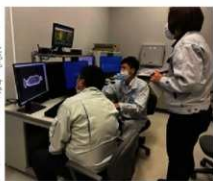
14世紀前半に鑄造されたと推定され、右手の印相から阿彌陀如来であると考えられます。また、過去に行われた調査により青銅製の仏像に金箔などで鍍金していることが分かっています。

資料表面（写真A）を観察すると、鍍金がほぼ全て剥がれており、地の青銅部分に腐食がみられます。また、鼻の欠損や左右の指がすり減っているのが確認できます。

写真Bは正面からみた内部の状態です。資料内部にヒビなどが見当たりませんでした。内部に角柱状の骨組が確認できました。骨組は頭部から脚部まで延びる縦材が1本と肩部の横材

【謝辞】
X線CT撮影に御協力いただきました。福島県ハイテクプラザ坂内駿平氏に感謝申し上げます。
※小仏像の調査を含めた非破壊構造調査については、当館発行の「研究紀要第22号」で報告しています。

1本、衣の裾の横材1本の計3本から成っています。報告書によると銅型鑄造により製作されたと推定されており、この骨組は中型の作成に用いられた芯材であると考えられます。福島県内での小仏像の出土事例はめずらしく、貴重な資料のため、今後さらなる調査研究を重ねていきたいです。



調査当日写真



A



B

A：四合内遺跡から出土した小仏像 B：X線CT画像

ことば解説

- ※1【印相】…仏像の手があらわしているポーズ、手のかたち。
- ※2【鍍金】…表面を薄い金属で覆うこと。

常設展示室にはX線CT動画を見ることが出来るQRコードが設置してあります。荒小路遺跡出土土偶と穴内古墳群出土土葉の動画を視聴することができます。



佐藤学芸員

まほろん 取蔵資料紹介

鉄製獣脚手取釜 徳定 A・B 遺跡 (郡山市)

阿武隈川上流の築堤工事にもなった発掘調査でみつかった遺物をご紹介します。

文：吉野 滋夫 (専門学芸員)



鉄製獣脚手取釜 (以下手取釜と略す) は、徳定 A・B 遺跡 1号土坑に埋納されていました。当遺跡は、郡山市田村町徳定・御代田の阿武隈川沿いにある古墳から室町時代かけての集落跡です。

手取釜は鑄鉄製で、胴下部側面に三足が、胴部上半側面に注口が付いています。手取釜の大きさは最大径約 18.4cm、脚端部から口縁部までの総高 17cm、口径は約 9.2cm です。手取釜の鉷と蓋は欠損していました。

底部中央には一文字の鑄込み口が認められ、

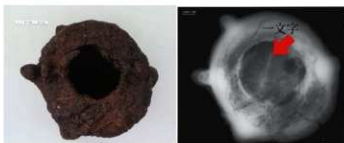


図1 徳定 A・B 遺跡出土の鉄製獣脚手取釜

図2 鉄製獣脚手取釜の X線 CT 画像

天明釜 (栃木県佐野市でつくられた釜) やその系譜を引く工人によって作られたようです (図 2)。手取釜の年代は、同じく 1号土坑から出土した常滑焼の年代から、鎌倉から室町時代のものと考えています。手取釜は茶器として用いられ、その類似は九州国立博物館取蔵品の 16世紀後半のものが知られています。



図3 調査区北半分

まほろん
2024 Golden Week mahoron shirakawa
ゴールデンウィーク 特別体験
4/27(土) - 5/6(日) 9:30 ~ 16:00
※ 4/30(火) は休館日です

体験が盛りだくさん
楽々かんたん
のんびり楽しむ

拓本づくり
火おこし体験
弓矢体験

※詳しくは当館ホームページをご覧ください。

まほろん公式 SNS 随時更新中!
フォロー＆チャンネル登録お待ちしています!

Instagram

YouTube

編集後記

春といえば門出の季節。新年度を迎えて、新たな環境や人間関係を楽しめたらいいですね。まほろん内でも職員の入替わりがありました。ちょっと気分転換したいときなど、まほろんの森にいらしてください。

まほろん
通信
vol. 91
令和6年4月17日発行

開館時間 9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
休館日 月曜日 (4/29、5/6、7/15 を除く)、
年末年始 (12/28 ~ 1/4)、4/30、5/7、7/16
入館料 無料 (体験学習によっては、材料費が必要な場合があります。)

福島県白河市白坂一里段 86
〒961-0835
☎ 0248-21-0700
FAX 0248-21-1075
ホームページ mahoron.jp

